

第 1 刷 訂正情報

本書（第 1 刷）の掲載内容に下記の誤りがございました。ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

P.41 「使うのはコレ！」

【誤】

Ctrl キー

【正】

合計ボタン+Ctrl キー

P.42 「関数 Check! SUMPRODUCT 関数」2 行目

【誤】

関数の書式▶ =SUMPRODUCT(配列 1[, 配列 2……, 配列 255)

【正】

関数の書式▶ =SUMPRODUCT(配列 1[, 配列 2……, 配列 255])

P.54 「関数 Check! IF 関数」2 行目

【誤】

関数の書式▶ =IF(論理式, [真の場合], [偽の場合])

【正】

関数の書式▶ =IF(論理式, [値が真の場合], [値が偽の場合])

※Excel2013/2010 関数の書式▶ =IF(論理式, [真の場合], [偽の場合])

P.57 手順[2]2行目

【誤】

Enter キーで数式を確定する。

【正】

Ctrl+Shift+Enter キーで数式を確定する。

P.74 手順[2]下の画像

以下が正しい画像です。

行ラベル	合計 / 数量	合計 / 数量3	合計 / 数量2
ジャスミン	27	27	27
ラベンダー	44	44	44
ローズ	47	47	47
総計	118	118	118

ピボットテーブルの... 2

レポートに追加するフィールドを選択してください:

検索

日付
 店舗名
 香
 単価
 数量

その他のテーブル...

次のボックス間でフィールドをドラッグしてください:

フィルター

Σ 値

行

Σ 値

香

合計 / 数量
合計 / 数量3
合計 / 数量2

レイアウトの更新を保留する 更新

P.100 手順[3]1 行目

【誤】

「レポートフィルター」エリアの「店舗名」を選択し、

【正】

「フィルター」エリアの「店舗名」を選択し、

P.101 「使うのはこれ！ ピボットテーブル+クリップボード」1~2 行目

【誤】

テク 44 でご紹介したピボットテーブルウィザードを使えば、複数のシートにある表をクロス集計できるが、列見出しに表内にある項目は使えない。表内にある項目を使い集計するならクリップボードで 1 つにまとめてから通常のピボットテーブルで作成しよう。

【正】

テク 44 でご紹介したピボットテーブルウィザードは、ピボットテーブルの範囲に指定した左端と上端の項目でしかクロス集計できない。複数シートのリスト形式の表でクロス集計するならクリップボードで 1 つにまとめてから通常のピボットテーブルで作成しよう。

P.106 「関数 Check! SUMIF 関数/AVERAGEIF 関数/COUNTIF 関数」2 行目

【誤】

関数の書式▶ =SUMIF(範囲, 検索条件, 合計範囲)

【正】

関数の書式▶ =SUMIF(範囲, 検索条件[, 合計範囲])

P.106 「関数 Check! SUMIF 関数/AVERAGEIF 関数/COUNTIF 関数」4 行目

【誤】

関数の書式▶ =AVERAGEIF(範囲, 条件, 平均対象範囲)

【正】

関数の書式▶ =AVERAGEIF(範囲, 条件[, 平均対象範囲])

P.107 「数式解説」

【誤】

「季節」の列で「夏季」の条件を満たす「数量」の最大値を求める。

【正】

「季節」の列で「夏季」の条件を満たす「販売数」の最大値を求める。

P.107 ●条件に一致する項目の最小値を求める 右側の画像

以下が正しい画像です。

G4							=DMIN(A2:D10,D2,F6:F7)	
	A	B	C	D	E	F	G	
1	限定商品販売実績							
2	年度	季節	種別	販売数	1	◆夏	商品販売数	
3	2016年	春季	洋菓子	4,985		最高販売数	6,420	
4	2016年	春季	和菓子	3,075		最小販売数	2,101	
5	2016年	夏季	洋菓子	3,048				
6	2016年	夏季	和菓子	2,101		季節		
7	2017年	春季	洋菓子	6,245		夏季	3	
8	2017年	春季	和菓子	4,281				
9	2017年	夏季	洋菓子	6,420				
10	2017年	夏季	和菓子	3,267				

P.108 「数式解説」

【誤】

「季節」の列で「夏季」の条件を満たす「数量」の最小値を求める。

【正】

「季節」の列で「夏季」の条件を満たす「販売数」の最小値を求める。

P.115 「数式解説」

【誤】

「季節」の列で「夏季」の両方の条件を満たす「数量」の最大値を求める。

【正】

「季節」の列で「夏季」の両方の条件を満たす「販売数」の最大値を求める。

P.116 「数式解説」

【誤】

「季節」の列で「夏季」の条件を満たす「数量」の最小値を求める。

【正】

「季節」の列で「夏季」の条件を満たす「販売数」の最小値を求める。

P.122 「数式解説」(1つ目)

【誤】

「季節」の列で「夏季」と「冬季」のいずれかの条件を満たす「数量」の最大値を求める。

【正】

「季節」の列で「夏季」と「冬季」のいずれかの条件を満たす「販売数」の最大値を求める。

P.122 「数式解説」(2つ目)

【誤】

「季節」の列で「夏季」と「冬季」のいずれかの条件を満たす「数量」の最小値を求める。

【正】

「季節」の列で「夏季」と「冬季」のいずれかの条件を満たす「販売数」の最小値を求める。

P.131 手順[5]下 右側の画像

以下が正しい画像です。



5

1	アロマキャンドル売上表				
2	日付	店舗名	香り	単価	数量
3	4/1	本店	ローズ	2,500	10
4	=A3	本店	ラベンダー	3,200	7
5		モール店	ラベンダー	3,200	12
6	4/2	本店	ジャスミン	2,000	15
7		モール店	ローズ	3,000	18
8		モール店	ジャスミン	3,000	8
9		ネット店	ローズ	3,500	11
10		ネット店	ラベンダー	2,700	20
11	4/3	本店	ローズ	2,500	8
12		モール店	ラベンダー	2,700	5
13		モール店	ジャスミン	2,000	4
14					
15					
16					

4

P.266 テク 140

【誤】

入力データがスペースやハイフン等で区切られている場合、別々に抽出したい

【正】

入力データがスペースや**スラッシュ**等で区切られている場合、別々に抽出したい

P.266 「使うのはコレ！ フラッシュフィル」1~2 行目

【誤】

入力データがスペースやハイフン等で区切られていて、スペースやハイフン等ごとに抽出したい時も、

【正】

入力データがスペースや**スラッシュ**等で区切られていて、スペースや**スラッシュ**等ごとに抽出したい時も、

P.267 テク 141

【誤】

入力データが複数のスペースやハイフン等で区切られている場合、手早く別々に抽出したい

【正】

入力データが複数のスペースや**スラッシュ**等で区切られている場合、手早く別々に抽出したい

P.267 「使うのはコレ！ 区切り位置指定ウィザード」1~2 行目

【誤】

「年/月/日」など入力データが複数のスペースやハイフン等で区切られている場合に、

【正】

「年/月/日」など入力データが複数のスペースやスラッシュ等で区切られている場合に、

P.291 テク 154

【誤】

ハイフン等による区切りが複数個所に入っている文字列を自動的に分割したい

【正】

スラッシュ等による区切りが複数個所に入っている文字列を自動的に分割したい

P.291 「使うのはコレ！ TRIM+MID+SUBSTITUTE+REPT+COLUMN 関数」1 行目

【誤】

ハイフン等による区切りが複数個所に入っている文字列から、

【正】

スラッシュ等による区切りが複数個所に入っている文字列から、

P.292 「ここがポイント！ 区切り位置指定ウィザードより数式を使う利点」1 行目

【誤】

区切り位置指定ウィザードを使うと、ハイフン等による区切りが複数個所に入っている文字列でも区切り文字を指定して分割できるが(6章 1節テク 141 参照)、

【正】

区切り位置指定ウィザードを使うと、**スラッシュ**等による区切りが複数個所に入っている文字列でも区切り文字を指定して分割できるが(6章1節テク141参照)、

P.295 テク156

【誤】

ハイフン等による区切りがなく字数もバラバラの文字列を、それぞれ指定の位置で分割したい

【正】

スラッシュ等による区切りがなく字数もバラバラの文字列を、それぞれ指定の位置で分割したい

P.484 著者略歴3~4行目

【誤】

Excel関数の連載を**発刊当初から**9年間行う。

【正】

Excel関数の連載を9年間行う。